

令和4年度 第2回 学校運営協議会



板 野 町 板 野 中 学 校

〒 779-0105 板野郡板野町大寺字郡頭 11 番地
TEL 088-672-0079
FAX 088-672-0164

第2回学校運営協議会

- 1 日 時 令和5年3月13日（月） 16:40～17:30
- 2 場 所 板野中学校 校長室
- 3 内 容
- (1) 板野町教育委員会教育長あいさつ
 - (2) 学校長あいさつ
 - (3) 学校評価アンケートについて（今年度の課題と成果）
 - (4) 令和5年度の学校運営について
 - ・商品開発プロジェクト
 - ・「学びのかけ橋」事業（保幼小中連携）
 - (5) 昨年度の学校評議委員会からの提言
 - (6) 質疑

令和4年度 板野町板野中学校 学校運営協議会 委員

	氏名	よみがな	役職	備考
	谷川 健二	たにがわ けんじ	板野町教育委員会教育長	

	氏名	よみがな	役職	備考
1	佐山 哲雄	さやま てつお	板野高等学校長	
2	佐野 明美	さの あけみ	板野町読書ボランティアクラブ	
3	野田 晶子	のだ あきこ	板野町まちづくり女性の会	
4	坂東 安恵	ばんどう やすえ	板野町まちづくり女性の会	
5	吉田 美恵子	よしだ みえこ	板野中学校部活動指導員	
6	石川 五重	いしかわ いつえ	板野中学校PTA会長	
7	山田 匠	やまだ たくみ	板野中学校長	
8	松本 賢一	まつもと けんいち	板野中学校教頭	

校長室

谷川健二教育長 山田匠校長

○ ○

佐山哲雄 ○

○ 松本賢一

佐野明美 ○

野田晶子 ○

○ 石川五重

○ ○

坂東安恵 吉田美恵子

入り口

令和4年度
学校評価報告

《自己評価》



板野町板野中学校

目次

- 1, 学校評価アンケート集計【生徒】……P1
- 2, 学校評価アンケート集計【保護者】……P2
- 3, 学校評価アンケート集計【教職員】……P3
- 4, 学校評価結果【自己評価】……………P4~P5
- 5, 学校評価アンケート結果【保護者宛文書】…P6~P7
- 6, 学校評価アンケート結果【まとめ】……P8~P9
- 7, 学校評価アンケート 回収数……………P10

令和4年度学校評価アンケート【年度末】（ 全校生徒 ）

	設問項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無答	肯定的な意見			
							R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
学校生活・生活指導	1 学校での生活は楽しい。	60.5%	32.2%	5.1%	0.0%	2.2%	92.8%	93.0%	88.4%	89.8%
	2 学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。	75.4%	17.8%	1.8%	1.8%	3.3%	93.1%	94.7%	95.4%	94.7%
	3 場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	59.4%	34.4%	4.3%	0.7%	1.1%	93.8%	94.0%	93.7%	86.6%
	4 遅刻をしないなど時間を守って生活している。	57.2%	27.5%	9.1%	2.5%	3.6%	84.8%	92.9%	90.5%	85.2%
	5 自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	94.2%	1.4%	0.0%	0.0%	4.3%	95.7%	96.8%	97.5%	95.4%
	6 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。	54.3%	25.7%	5.4%	2.5%	12.0%	80.1%	87.4%	83.9%	84.2%
	7 予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています。	35.9%	42.4%	15.2%	1.1%	5.4%	78.3%	83.2%	82.6%	77.5%
	8 提出物を忘れずに出している。	42.0%	38.8%	12.0%	1.8%	5.4%	80.8%	77.5%	79.7%	74.3%
学力・学習指導	9 自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。	30.8%	40.6%	21.4%	4.7%	2.5%	71.4%	76.8%	68.6%	68.3%
	10 授業の内容を理解している。	31.2%	50.4%	12.7%	2.2%	3.6%	81.5%	83.9%	78.0%	75.4%
	11 毎日、家庭学習をしている。	43.5%	33.0%	15.6%	4.3%	3.6%	76.4%	81.8%	72.0%	70.4%
	12 朝読書以外にも読書をしている。	16.7%	18.5%	31.5%	26.4%	6.9%	35.1%	44.6%	47.6%	47.9%
進路指導	13 将来の夢や希望の実現に向けて考えている。	34.4%	39.5%	16.7%	4.0%	5.4%	73.9%	71.6%	68.9%	62.0%
	14 自分には良いところがある。	30.1%	46.4%	14.1%	0.7%	8.7%	76.4%	77.2%	71.7%	72.9%
道徳教育	15 社会のルールを守って生活している。	56.9%	35.1%	4.3%	0.4%	3.3%	92.0%	93.0%	95.1%	91.2%
	16 自分が大切な存在であると思っている。	28.6%	41.7%	16.7%	2.9%	10.1%	70.3%	81.8%	70.3%	68.0%
	17 「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。	33.3%	44.2%	12.0%	2.2%	8.3%	77.5%	84.9%	76.2%	64.8%
	18 道徳の時間に積極的に取り組んでいる。	37.3%	42.4%	14.1%	0.7%	5.4%	79.7%	83.2%	77.3%	75.7%
特別活動 総合学習 部活	19 生徒会活動や部活動に自主的・積極的に取り組んでいる。	43.5%	29.0%	6.5%	4.7%	16.3%	72.5%	78.9%	75.2%	75.4%
	20 部活動ガイドラインを守り、活動ができています。	44.2%	22.1%	4.0%	2.2%	27.5%	66.3%	79.6%	78.6%	81.3%
安全教育 環境教育	21 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	51.1%	34.1%	10.5%	1.4%	2.9%	85.1%	92.6%	92.0%	89.4%
	22 学校の施設・設備は安全である。	35.9%	37.0%	15.6%	4.7%	6.9%	72.8%	80.0%	75.1%	65.5%
	23 時間いっぱい清掃に取り組んでいる。	44.9%	40.2%	9.4%	1.1%	4.3%	85.1%	89.5%	85.3%	83.1%
人権教育	24 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。	49.3%	31.5%	4.3%	3.3%	11.6%	80.8%	86.3%	80.1%	83.1%
	25 いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。	65.2%	26.4%	2.2%	0.4%	5.8%	91.7%	93.7%	92.0%	89.8%
学校行事	26 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	62.3%	29.3%	3.6%	0.7%	4.0%	91.7%	92.6%	88.1%	89.8%
学校公開 情報公開 地域家庭 連携	27 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	32.6%	39.9%	15.9%	5.1%	6.5%	72.5%	78.5%	76.9%	72.5%
	28 地域の行事に参加している。	11.6%	13.0%	32.2%	29.3%	13.8%	24.6%	33.7%	34.6%	48.6%
	29 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	34.1%	37.7%	13.4%	2.5%	12.3%	71.7%	77.5%	82.8%	79.9%
	30 学校からの便りを保護者にわたしている。	50.4%	31.2%	12.3%	2.9%	3.3%	81.5%	84.2%	86.7%	79.6%

■ 評価のよかった項目（「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を超える評価）

■ あまり評価のよくない項目（「よくあてはまる」「ややあてはまる」が60%を切る評価）

令和4年度学校評価アンケート【年度末】（保護者）

	設問項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無答	肯定的な意見			
							R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
学校生活・生活指導	1 子供は、楽しく学校生活を送っている。	53.8%	37.8%	5.2%	1.2%	2.0%	91.6%	93.7%	90.3%	90.3%
	2 子供は、学校でいじめもなく、友だちと仲よくすごしている。	54.2%	37.8%	4.0%	1.6%	2.4%	92.0%	92.1%	91.4%	90.0%
	3 子供は、場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	38.2%	51.8%	6.4%	0.0%	3.6%	90.0%	89.7%	86.9%	86.4%
	4 子供は、遅刻をしないなど時間を守って生活している。	53.0%	32.1%	9.6%	2.8%	2.4%	85.1%	84.5%	85.8%	81.0%
	5 子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	91.2%	6.4%	0.0%	0.0%	2.4%	97.6%	96.0%	97.5%	97.8%
	6 学校は、生徒同士のトラブルや悩みなど、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている。	30.9%	46.2%	8.4%	1.6%	12.9%	77.1%	90.1%	83.5%	82.4%
	7 子供は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています。	39.4%	46.2%	4.8%	0.4%	9.2%	85.5%	92.5%	87.9%	81.7%
	8 子供は、提出物を忘れずに出している。	29.3%	51.0%	14.9%	2.8%	2.0%	80.3%	75.8%	73.1%	71.3%
学力・学習指導	9 子供は、自分の考えや意見を伝える力が身についている。	18.1%	54.6%	24.5%	0.4%	2.4%	72.7%	73.4%	73.4%	68.8%
	10 子供は、授業の内容を理解している。	13.7%	54.6%	24.1%	4.0%	3.6%	68.3%	71.0%	62.8%	58.8%
	11 子供は、家庭学習をする習慣が身についている。	15.3%	41.0%	30.5%	11.2%	2.0%	56.2%	62.3%	46.9%	46.2%
	12 子供は、家庭でも読書をしている。	5.6%	22.5%	39.8%	30.9%	1.2%	28.1%	29.4%	30.3%	29.0%
進路指導	13 子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている。	18.1%	39.8%	32.1%	8.4%	1.6%	57.8%	57.5%	52.1%	43.0%
	14 保護者は子供の良いところを知っている。	51.8%	43.8%	2.4%	0.0%	2.0%	95.6%	94.8%	98.3%	97.5%
道徳教育	15 子供は、社会のルールを守る態度が育っている。	46.6%	47.4%	3.6%	0.0%	2.4%	94.0%	92.1%	92.4%	78.9%
	16 子供は、自分を大切な存在であると思っている。	46.6%	45.4%	4.0%	0.4%	3.6%	92.0%	93.3%	88.2%	87.1%
	17 子供は「とことん続ける目標」で、自信につながってきている。	26.9%	49.0%	18.5%	2.0%	3.6%	75.9%	79.4%	66.2%	57.3%
	18 子供が、道徳でどんなことを学んでいるか知っている。	13.7%	36.5%	32.5%	10.8%	6.4%	50.2%	52.8%	50.3%	49.1%
特別活動 総合学習 部活	19 子供は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる。	48.6%	32.1%	6.8%	4.0%	8.4%	80.7%	79.0%	75.5%	69.5%
	20 部活動は、時間を守り、活動ができています。	45.0%	26.9%	5.6%	2.0%	20.5%	71.9%	76.2%	80.0%	86.0%
安全教育 環境教育	21 子供は、事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	24.5%	60.6%	12.4%	0.4%	2.0%	85.1%	86.5%	85.4%	77.4%
	22 学校の施設・設備は安全である。	24.9%	55.4%	13.7%	1.2%	4.8%	80.3%	85.3%	82.1%	73.8%
	23 学校は、美しく整えられている。	42.6%	48.6%	6.0%	0.0%	2.8%	91.2%	94.8%	88.9%	84.9%
人権教育	24 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している。	35.3%	47.8%	6.4%	1.2%	9.2%	83.1%	91.7%	82.4%	79.6%
	25 学校や先生は、いじめや差別のない学校づくりをしている。	36.1%	47.8%	5.2%	1.6%	9.2%	83.9%	90.9%	83.1%	81.0%
学校行事	26 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	40.2%	48.6%	5.6%	0.0%	5.6%	88.8%	87.7%	90.4%	87.1%
学校公開 情報公開 地域家庭 連携	27 保護者は、学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	16.9%	63.9%	11.2%	1.2%	6.8%	80.7%	85.3%	80.0%	71.3%
	28 学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている。	32.5%	54.6%	2.4%	0.0%	10.4%	87.1%	94.4%	91.0%	90.0%
	29 学校は、授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	39.0%	48.2%	6.8%	0.4%	5.6%	87.1%	90.1%	89.7%	94.3%
	30 学校の便りから、学校の取り組みや生徒の活動の様子がよく伝わる。	45.0%	44.2%	5.6%	0.4%	4.8%	89.2%	90.9%	86.6%	86.0%
	31 学校から発信されるホームページ、マチコミメールは役に立っている。	68.7%	25.3%	2.0%	2.0%	2.0%	94.0%	96.8%	94.8%	86.0%

■ 評価のよかった項目（「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を超える評価）

■ あまり評価のよくない項目（「よくあてはまる」「ややあてはまる」が60%を切る評価）

令和4年度学校評価アンケート【年度末】（教職員）

	設問項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無答	肯定的な意見			
							R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
学校生活・生活指導	1 生徒は楽しく学校生活をすごしている	51.7%	48.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	2 生徒は学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている	37.9%	58.6%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	100.0%	96.2%	96.2%
	3 生徒は場に応じて、聞こえる挨拶をしている	27.6%	58.6%	10.3%	3.4%	0.0%	86.2%	86.7%	80.8%	69.2%
	4 生徒は、遅刻をしないなど時間を守って生活している	27.6%	51.7%	20.7%	0.0%	0.0%	79.3%	86.7%	92.3%	80.8%
	5 生徒は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている	86.2%	10.3%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	100.0%	100.0%	100.0%
	6 生徒同士のトラブルや悩みなどを生徒が相談する時間を設定している	48.3%	34.5%	13.8%	0.0%	3.4%	82.8%	96.7%	73.1%	84.6%
	7 生徒は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています	37.9%	51.7%	6.9%	0.0%	3.4%	89.7%	100.0%	92.3%	73.1%
	8 生徒は、忘れず提出物をだしている	13.8%	69.0%	13.8%	0.0%	3.4%	82.8%	66.7%	76.9%	53.8%
学力・学習指導	9 生徒は、自分の考えや意見を伝える力など、表現力が育っている	17.2%	51.7%	27.6%	0.0%	3.4%	69.0%	60.0%	80.7%	53.8%
	10 生徒は、授業の内容をよく理解している	10.3%	65.5%	17.2%	0.0%	6.9%	75.9%	76.7%	84.6%	73.1%
	11 生徒は、家庭学習をする習慣が身についている	17.2%	51.7%	24.1%	0.0%	6.9%	69.0%	63.3%	65.4%	57.7%
	12 生徒は、読書に親しむ習慣が育っている	6.9%	27.6%	58.6%	3.4%	3.4%	34.5%	46.7%	46.2%	23.1%
進路指導	13 生徒は、将来の夢や希望の実現に向けて、主体的に進路選択しようとしている	31.0%	41.4%	20.7%	0.0%	6.9%	72.4%	80.0%	80.8%	57.7%
	14 自分の良いところに気づかせようとしている	41.4%	55.2%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	93.3%	100.0%	100.0%
道徳教育	15 生徒は、社会のルールを守る態度が育っている	44.8%	48.3%	3.4%	0.0%	3.4%	93.1%	96.7%	92.3%	88.5%
	16 生徒は、自分を大切な存在であると思っている	27.6%	58.6%	10.3%	0.0%	3.4%	86.2%	93.1%	84.6%	84.6%
	17 生徒は「とことん続ける目標」で、自信につながってきている	31.0%	65.5%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	100.0%	88.5%	80.8%
	18 道徳の授業内容を通信等で知らせている	20.7%	37.9%	17.2%	17.2%	6.9%	58.6%	66.7%	65.4%	100.0%
特別活動総合学習部活	19 生徒は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる	48.3%	44.8%	3.4%	0.0%	3.4%	93.1%	96.7%	96.2%	84.6%
	20 部活動は時間を守り、運営ができています	58.6%	31.0%	6.9%	0.0%	3.4%	89.7%	96.7%	100.0%	100.0%
安全教育環境教育	21 生徒は地震、火災、不審者など、危機に対応する能力が育っている	24.1%	62.1%	10.3%	0.0%	3.4%	86.2%	93.3%	84.6%	73.1%
	22 学校の施設・設備は安全である	20.7%	58.6%	13.8%	0.0%	6.9%	79.3%	73.3%	46.1%	46.2%
	23 学校を美しく整えている	75.9%	24.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	96.7%	100.0%	92.3%
人権教育	24 子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している	75.9%	20.7%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	96.7%	100.0%	100.0%
	25 いじめや差別を素早く見抜き、情報共有し、初期対応と未然防止に努めている	58.6%	37.9%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	96.7%	100.0%	96.2%
学校行事	26 学校行事や講演会は、教育効果を上げている	82.8%	13.8%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	96.7%	92.3%	100.0%
学校公開情報公開地域家庭連携	27 学校の教育方針や教育活動のねらいを伝えていく	65.5%	27.6%	3.4%	0.0%	3.4%	93.1%	96.7%	88.5%	92.3%
	28 積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている	48.3%	41.4%	3.4%	0.0%	6.9%	89.7%	83.3%	76.9%	92.3%
	29 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している	96.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	93.3%	88.4%	100.0%
	30 学校の取り組みや様子などを保護者に伝えていく	65.5%	24.1%	6.9%	0.0%	3.4%	89.7%	96.7%	80.7%	100.0%
	31 学校はホームページ、マチコミメールを利用して、積極的に情報発信している	82.8%	10.3%	0.0%	3.4%	3.4%	93.1%	100.0%	88.4%	100.0%
特別支援	32 ひとりひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進している	44.8%	51.7%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	96.7%	84.6%	73.1%
学校経営	33 教職員間で「報告・連絡・相談」が日常的に行われ、教職員間の共通理解が図られている	62.1%	37.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	84.6%	92.3%
	34 教職員間のコンプライアンス、情報セキュリティが徹底されている	65.5%	31.0%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%	96.7%	84.6%	92.3%
	35 研修等に積極的に参加するなど、資質向上に努めている	65.5%	34.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	88.5%	100.0%
資質向上	36 校務分掌・組織は適切に構成され、機能している	69.0%	31.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	92.3%	84.6%
	37 教育活動全般において、職員同士が協力して取り組んでいる	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	84.6%	92.3%

■ 評価のよかった項目（「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を超える評価）
■ あまり評価のよくない項目（「よくあてはまる」「ややあてはまる」が60%を切る評価）

令和4年度 学校評価結果【年度末】

令和5年3月1日
板野中学校

1 評価者	生徒	276名	回収率(97.9%)
	保護者	249名	回収率(88.3%)
	教職員	29名	回収率(100%)

2 結果と分析

生徒

生徒の学校評価アンケートの回答の集計結果では、設問項目1～6, 8, 10, 15, 18, 21, 23～26, 30の質問項目について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を大きく超えており、概ね満足しているといえる。しかし、全調査項目のうち、80%以上の項目が、昨年度末調査の20項目よりは減少しており、15項目にとどまった。

「学校生活・生活指導」(設問1～8)の分野では、設問項目6「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。」は、昨年度末は87.4%であったが、今年度末の調査では80.1%と約7ポイントのマイナスとなった。「ややあてはまる」と回答した25.7%を30%以上に、「よくあてはまる」と回答した54.3%を55%以上の回答に改善されるように、より生徒に寄り添った助言や指導を進めていきたい。設問項目8「提出物を忘れずに出している」では、昨年度末の77.5%より大きく上昇し、80.8%であった。昨年度の課題であった部分で、提出物をきちんと出せるように、声かけのみにとどまらず、提出物の内容やその設定手段についても再考し、板中メソッドやまとめの教材を活用するように指導した成果が現れていると考え、このまま継続する必要がある。

「学力・学習指導」(設問9～12)の分野では、設問項目9「自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。」は、昨年度の調査と比べても71.4%と安定しているが、生徒が主体的に表現する機会をさらに増やし、80%を目指したい。一方で、設問項目12「朝読書以外にも読書をしている」は、昨年度の44.6%よりもさらに低下し、35.1%であった。タブレット導入で、紙媒体に触れる機会が減少したことも要因にあると考えられ、今後の課題であるとする。紙媒体とタブレットの両立を進めるための検証に取り組み、改善していきたい。

「道徳教育」(設問15～18)については、昨年度はすべての項目で80%を超える高い結果であったが、「自分が大切な存在であると思っている。」ではマイナス12ポイントの70.3%、「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。」では、マイナス7ポイントの77.5%となった。昨年度よりは減少となっているが、令和元年、2年と比べると緩やかな増加傾向であるとも見える。よって、令和5年度は、「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。」「自分が大切な存在であると思っている」の2点については重点目標として捉え、自尊感情や自信につながるように、教育活動全般でより充実したサポートを行い、経過を注視したい。

「人権教育」(設問24, 25)でも、すべての項目で80%を超える高い結果となっているが、重点目標の一つである「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。」は80.8%となり、前年度末の86.3%からの減少も見られるが、令和2年度の結果を含めて考えると、安定しているとも言える。

『明日への扉』での目標設定と毎日の振り返りにしっかりと取り組める生徒達の頑張りをサポートし、きめ細やかな生徒へのフィードバックを通して、生徒と教員、保護者と教員の相互の関係が深まっていくように、日々研鑽を積み、「自立型人間の育成」に向けて取り組んでいきたい。

今後の課題は設問項目7, 9, 11, 12, 13, 14, 16, 17, 19, 20, 22, 27, 28, 29である。しかし設問項目6及び24は引き続き最重要目標とする。「とことん続ける目標」の徹底、明日への扉を使った振り返りへの取り組みを通して、自己肯定感をさらに磨き、それによって学習意欲をさらに増加させるよう取り組んでいく。

また、いじめ対応を素早く、スピード感をもって対処し、学習の土台となる「人間力づくり」「人間関係づくり」を最優先に引き続き取り組みたい。

保護者

保護者の年度末評価の結果において、全30問の設問項目のうち、22問(昨年度末は21問)が「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が80%を大きく超えており、おおむね満足して頂いている。

設問項目1～5及び7, 8の学校生活全般については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を超えており、90%以上の回答や、「よくあてはまる」の回答だけで80%を超えるものもあり、大変満足していただいているといえる。また、これらの回答は生徒の回答とも類似点が確認される。昨年までのデータと比較しても、若干下がったものが2項目あるが、その他の設問項目では少しずつ向上している。好評価の中でも特に「子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている」の調査は、「よくあてはまる」だけで、91.2%の回答があり、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の回答は両方とも0.0%であった。また、昨年度の課題であった設問項目8「子供は、提出物を忘れずに出している。」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80.8%となった。生徒達が提出物がきちんと出せるように、声かけのみにとどまらず忘れず出せるように提出物の内容とその設定方法について、見直してきた効果が見られたのでこのまま継続したい。しかし、設問項目6「学校は、生徒同士のトラブルや悩みなど、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている。」では、昨年度の90.1%から、大きく減少して77.1%となった。安心・安全に学校生活を送るためには、生徒のトラブルや悩みの解消は喫緊の課題であるため、さらに生徒達に寄り添った指導が行われるように、結果を真摯に捉え努力を行う必要がある。

「子供は、自分の考えや意見を伝える力が身についている。」の調査では、昨年度73.4%となっていたが、今年度調査でも72.7%となり、生徒の同質問についての回答もよく似た数値となっている。設問項目10「子供は授業の内容を理解している。」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が68.3%であったが、同質問への生徒の回答は81.5%と高い数値となっており、学校からの生徒達の授業に向けての取組や達成状況を知らせる機会が必要だと感じる。しかし、設問項目11「子供は、家庭学習をする習慣が身についている。」では肯定的な意見が56.2%、設問項目11「子供は、家庭でも読書をしている。」では肯定的な意見がわずかに28.1%であった。家庭での時間の過ごし方について、さらに生徒達への働きかけや、意欲を持たせるための取組を行う必要が認められる。また、「子供は「とことん続ける目標」で、自信につながっている。」の肯定的な意見が75.9%と昨年度よりは低いが、長期的に見ると数値は上昇している。これは保護者に「とことん続ける目標」の取組が少しずつ浸透してきたと言える。この活動は家庭教育と学校教育が一体となって取り組みたいものでもあり、生徒が設定している目標を保護者に知ってもらおうとともに、振り返りシートの保護者の記入について協力を依頼することにより、学校と家庭が歩調を合わせて生徒の自己肯定感の育成をさらに進めていく。

人権教育の設問項目24, 25において、肯定的な意見は80%を超える結果となった。講演会等で積極的に保護者の参加も勧めてきた成果だと感じる。

保護者への情報発信はいずれの設問項目においても好評価となった。「学校から発信されるホームページ、マチコメメールは役に立っている。」では、94.0%の好意的な回答が得られた。今後もコロナ禍であるからこそ、きめ細やかな情報発信に努める。

教職員

設問項目の1～8については、生徒・保護者と同じ内容を設定しているが、昨年度の結果と比較すると、微少ながら減少傾向となった。「生徒は場に応じて、聞こえる挨拶をしている。」については、肯定的な意見が86.2%と高い数値であるが、「よくあてはまる」と回答したのは27.6%と低いので、35%を目指す。本校が重点目標として設定している「聞こえる挨拶」のさらなる強化のために、生徒達が頑張っている自転車置き場周辺での聞こえる挨拶に、さらに取り組んでいきたい。「生徒同士のトラブルや悩みなどを生徒が相談する時間を設定している」については、昨年度末調査は96.7%であったが、今年度は82.8%にとどまった。“時間を設定する”だけにとどまらず、生徒の気持ちに寄り添うことを忘れず、迅速で誠実な対応を心がけ、生徒との信頼関係をさらに強くしていきたい。「生徒は楽しく学校生活をすごしている」「生徒は学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。」の両質問には100%に近い肯定的な回答である。設問項目の1～8については生徒・保護者の数値とほぼ同様であることから、通常の学校生活での声かけやいじめアンケート、二者面談等の機会を通じて、生徒が安心感をもって生活できるようになっており、生徒の学校生活全般が落ち着いてきたことが起因していると思われる。

教職員の調査全37項目の内、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が60%以下の設問項目は2項目あった。その内訳は、学力・学習指導の分野の「生徒は、読書に親しむ習慣が育っている」と道徳教育の分野の「道徳の授業内容を通信等で知らせている」である。しかし昨年度までの課題であった「生徒は、家庭学習をする習慣が身についている」(69.0%)は昨年度調査の63.3%から改善した。これは、昨年度の12月より導入・実践されている“板中メソッド”の効果が大きいと考える。教職員にも生徒にとっても、具体的な学習方法が確立していると言うことが、家庭学習へのスムーズな取り組みにつながっている。このまま継続し、さらに家庭学習の充実につなげたい。「生徒は、授業の内容をよく理解している」(75.9%)であり、同じ設定項目の保護者(68.3%)と生徒(81.5%)の値において、教職員と生徒・保護者間で意識の違いが確認された。また、「生徒は、自分の考えや意見を伝える力など、表現力が育っている」(69.0%)も昨年度の60.0%より大きく上昇しており、保護者(72.3%)、生徒(71.4%)となり、この部分でも、教職員と生徒・保護者の意識のずれが昨年度より減少した。これらのことは生徒の学力保証の観点から重要な部分であり、生徒の自己表現の機会をさらに増やしたい。

そして、生活指導の「生徒は、忘れず提出物をだしている」(82.8%)は、昨年度から大幅に上昇した。このまま継続し定着させておきたい内容である。生活記録『明日への扉』での毎日の目標設定と振り返りなどにもっと浸透していきたい。『明日への扉』や『とことん続ける目標』を通じて、さらなる“自立型人間の育成”を進めていきたい。

学力・学習の分野は昨年度より改善の傾向が見られるものの、未だに満足度は低い傾向があり、学力向上委員会や学力向上実行プランとの連携を密に進める。また、「肯定的な意見」が多い項目は37項目中29項目ある。しかしながら、「学校生活・生活指導」「学力・学習指導」における肯定的な意見の多数は「ややあてはまる」の回答によるもので、「よくあてはまる」の回答は極端に少ない項目も多数ある。近年は生徒の学校生活全般が改善され、安定してきたことで、授業や教科等の指導が進めやすくなってきている。しかし、現状に甘えることなくさらなるレベルアップを目差した意味での「ややあてはまる」であり、「よくあてはまる」を最終目標とした上での伸びしろとして見ていると考える。

全教職員が「とことん続ける目標」の徹底で自己肯定感を磨き、それによって学習意欲を増加させる指導方針を今以上に共通理解し、学習の土台となる「人間力づくり」「人間関係づくり」を最優先に取り組んでいきたい。

令和4年度 学校評価アンケート【年度末】結果について(お知らせ)

板野中学校長 山田 匠

1月下旬から2月中旬にかけて年度末学校評価アンケートをご依頼いたしましたところ、ご協力いただき、誠にありがとうございました。生徒のみなさん、保護者のみなさまからいただきました声をしっかり受け止め、今後の「より良い学校づくり」に活かしてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。なお、集計結果の詳細につきましては、本校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が80%を超えており、評価のよい項目

◎保護者	
・ 子供は、楽しく学校生活を送っている。	91.6 %
・ 子供は、学校でいじめもなく、友だちと仲よくすごしている。	92.0 %
・ 子供は、場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	90.0 %
・ 子供は、遅刻をしないなど時間を守って生活している。	85.1 %
・ 子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	97.6 %
・ 子供は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています。	85.5 %
・ 子供は、提出物を忘れずに出している。	80.3 %
・ 保護者は子供の良いところを知っている。	95.6 %
・ 子供は、社会のルールを守る態度が育っている。	94.0 %
・ 子供は、自分を大切な存在であると思っている。	92.0 %
・ 子供は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる。	80.7 %
・ 子供は、事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	85.1 %
・ 学校の施設・設備は安全である。	80.3 %
・ 学校は、美しく整えられている。	91.2 %
・ 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している。	83.1 %
・ 学校や先生は、いじめや差別のない学校づくりをしている。	83.9 %
・ 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	88.8 %
・ 保護者は、学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	80.7 %
・ 学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている。	87.1 %
・ 学校は、授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	87.1 %
・ 学校の便りから、学校の取り組みや生徒の活動の様子がよく伝わる。	89.2 %
・ 学校から発信されるホームページ、マチコミメールは役に立っている。	94.0 %
◎生徒	
・ 学校での生活は楽しい。	92.8 %
・ 学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。	93.1 %
・ 場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	93.8 %
・ 遅刻をしないなど時間を守って生活している。	84.8 %
・ 自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	95.7 %
・ 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。	80.1 %
・ 提出物を忘れずに出している。	80.8 %
・ 授業の内容を理解している。	81.5 %
・ 社会のルールを守って生活している。	92.0 %
・ 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	85.1 %
・ 時間いっぱい清掃に取り組んでいる。	85.1 %
・ 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。	80.8 %
・ いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。	91.7 %
・ 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	91.7 %
・ 学校からの便りを保護者にわたしている。	81.5 %
「よくあてはまる」「ややあてはまる」が60%に達しておらず、あまり評価のよくない項目	
◎保護者	
・ 子供は、家庭学習をする習慣が身についている。	56.2 %
・ 子供は、家庭でも読書をしている	28.1 %
・ 子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている	57.8 %
・ 子供が、道徳でどんなことを学んでいるか知っている	50.2 %
◎生徒	
・ 朝読書以外にも読書をしている。	35.1 %
・ 地域の行事に参加している。	24.6 %

※ うら面もあります。

評価の分析と今後の取り組みについて

☆生徒の調査について

生徒の学校評価アンケートの回答の集計結果では、設問項目1～6, 8, 10, 15, 18, 21, 23～26, 30の質問項目について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を大きく超えており、概ね満足しているといえます。しかし、全調査項目のうち、80%以上の項目が、昨年度末調査の20項目よりは減少しており、15項目にとどまりました。

「学校生活・生活指導」(設問1～8)の分野では、設問項目6「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。」は、昨年度末は87.4%でしたが、今年度末の調査では80.1%と約7ポイントのマイナスとなりました。「ややあてはまる」と回答した25.7%を30%以上に、「よくあてはまる」と回答した54.3%を55%以上の回答に改善されるように、より生徒に寄り添った助言や指導を進めていきます。設問項目8「提出物を忘れずに出している」では、昨年度末の77.5%より大きく上昇し、80.8%でした。昨年度の課題であった部分で、提出物をきちんと出せるように、声かけのみにとどまらず、提出物の内容やその設定手段についても再考し、板中メソッドやまとめの教材を活用するように指導した成果が現れていると考え、このまま継続します。

「学力・学習指導」(設問9～12)の分野では、設問項目9「自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。」は、昨年度の調査と比べても71.4%と安定しているが、学校行事や総合の時間などで生徒が主体的に表現する機会をさらに増やし、80%を目指します。一方で、設問項目12「朝読書以外にも読書をしている」は、昨年度の44.6%よりもさらに低下し、35.1%でした。タブレット導入で、紙媒体に触れる機会が減少したことも要因にあると考えられ、今後の課題であると考えます。紙媒体とタブレットの両立を進めるための検証に取り組み、改善します。

「道徳教育」(設問15～18)については、「自分が大切な存在であると思っている。」ではマイナス12ポイントの70.3%、「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。」では、マイナス7ポイントの77.5%でした。しかし、令和元年、2年と長期で比べると緩やかな増加傾向であるとも見えます。よって、令和5年度は、「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。」「自分が大切な存在であると思っている」の2点については重点目標として捉え、自尊感情や自信につながるように、教育活動全般でより充実したサポートを行い、経過を注視します。

「人権教育」(設問24, 25)では、最重要目標の一つである「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。」は80.8%となり、前年度末の86.3%からの減少も見られるため、継続して最重要目標として捉え、生徒達の気持ちに寄り添った指導や援助を行います。

以上のことから、今後の課題は次の7つの項目です。

- I 自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている
- II 朝読書以外にも読書をしている
- III 自分には良いところがある
- IV 自分が大切な存在であると思っている
- V 「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった
- VI 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる
- VII いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている

中でも設問項目V, VIは今年度前半に引き続き最重要目標として継続します。「とことん続ける目標」の徹底で自己肯定感を磨き、それによって学習意欲をさらに増加させるよう取り組みます。そして、学校からの情報発信力をさらに向上し、いじめ対応を素早く、スピード感をもって対処し、学習の土台となる「人間力づくり」「人間関係づくり」を最優先に取り組みます。

☆保護者方々の調査について

保護者の年度末評価の結果において、全30問の設問項目のうち、22問(昨年度末は21問)が「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が80%を大きく超えており、おおむね満足して頂いているようです。

設問項目1～5及び7, 8の学校生活全般については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を超えており、90%以上の回答や、「よくあてはまる」の回答だけで80%を超えるものもあり、大変満足していただいているといえます。また、これらの回答は生徒の回答とも類似しています。昨年までのデータと比較しても、若干下がったものが2項目ありますが、その他の設問項目では少しずつ向上しています。好評価の中でも特に「子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている」の調査は、「よくあてはまる」だけで、91.2%の回答があり、「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の回答は両方も0.0%となっています。また、昨年度の課題であった設問項目8「子供は、提出物を忘れずに出している。」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80.8%でした。生徒達が提出物がきちんと出せるように、声かけのみにとどまらず忘れず出せるように提出物の内容とその設定方法について、見直してきた効果が見られたのでこのまま継続します。しかし、設問項目6「学校は、生徒同士のトラブルや悩みなど、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている。」では、昨年度の90.1%から、大きく減少して77.1%となりました。安心・安全に学校生活を送るためには、生徒のトラブルや悩みの解消は喫緊の課題であるため、さらに生徒達に寄り添った指導が行われるように、結果を真摯に捉え努力を行います。

「子供は、自分の考えや意見を伝える力が身についている。」の調査では、昨年度73.4%となっていたが、今年度調査でも72.7%となり、生徒の同質問についての回答もよく似た数値となっています。設問項目10「子供は授業の内容を理解している。」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が68.3%でしたが、同質問への生徒の回答は81.5%と高い数値となっており、学校からの生徒達の授業に向けての取組や達成状況をお知らせする機会が必要だと考えます。しかし、設問項目11「子供は、家庭学習をする習慣が身についている。」では肯定的な意見が56.2%、設問項目11「子供は、家庭でも読書をしている。」では肯定的な意見がわずかに28.1%でした。家庭での時間の過ごし方について、さらに生徒達への働きかけや、意欲を持たせるための取組を行います。また、「子供は」とことん続ける目標」で、自信につながっている。」の肯定的な意見が75.9%と昨年度よりは低いのですが、長期的に見ると数値の伸びが見られます。このことから、保護者に「とことん続ける目標」の取組が少しずつ浸透してきたと言えます。この活動は家庭教育と学校教育が一体となって取り組みたいものでもあり、生徒が設定している目標を保護者に知ってもらうとともに、振り返りシートの保護者の記入について協力を依頼することで、学校と家庭が歩調を合わせて生徒の自己肯定感の育成をさらに進めていきたいと考えます。

人権教育の設問項目24, 25において、肯定的な意見は80%を超える結果となりました。講演会等で積極的に保護者の参加も勧めてきた成果だと考えます。

保護者への情報発信はいずれの設問項目においても好評価となりました。「学校から発信されるホームページ、マチコミメールは役に立っている。」では、94.0%の好意的な回答が得られました。今後もコロナ禍であるからこそ、きめ細やかな情報発信に努めていきます。

今後も「子どもたちのより良い成長」を目指し、学校改善に取り組んでまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度 学校評価アンケートまとめ

生徒の回答

保護者の回答

教師の回答

設問項目		R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	設問項目		R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	設問項目		R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
学校生活・生活指導	1 学校での生活は楽しい。	92.8%	93.0%	88.4%	89.8%	学校生活・生活指導	1 子供は、楽しく学校生活を送っている	91.6%	92.7%	90.3%	90.3%	学校生活・生活指導	1 生徒は楽しく学校生活をすごしている	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	2 学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。	93.1%	94.7%	95.4%	94.7%		2 子供は、学校でいじめもなく、友だちと仲よくすごしている	92.0%	91.9%	91.4%	90.0%		2 生徒は学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている	96.6%	100.0%	96.2%	96.2%
	3 場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	93.8%	94.0%	93.7%	86.6%		3 子供は、場に応じて、聞こえる挨拶をしている	90.0%	88.8%	86.9%	86.4%		3 生徒は場に応じて、聞こえる挨拶をしている	86.2%	86.7%	80.8%	69.2%
	4 遅刻をしないなど時間を守って生活している。	84.8%	92.9%	90.5%	85.2%		4 子供は、遅刻をしないなど時間を守って生活している	85.1%	87.8%	85.8%	81.0%		4 生徒は、遅刻をしないなど時間を守って生活している	79.3%	86.7%	92.3%	80.8%
	5 自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	95.7%	96.8%	97.5%	95.4%		5 子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている	97.6%	96.8%	97.5%	97.8%		5 生徒は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている	96.6%	100.0%	100.0%	100.0%
	6 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。	80.1%	87.4%	83.9%	84.2%		6 学校は、生徒同士のトラブルや悩みなど、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている	77.1%	87.7%	83.5%	82.4%		6 生徒同士のトラブルや悩みなどを生徒が相談する時間を設定している	82.8%	96.7%	73.1%	84.6%
	7 予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています。	78.3%	83.2%	82.6%	77.5%		7 子供は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています	85.5%	88.8%	87.9%	81.7%		7 生徒は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています	89.7%	100.0%	92.3%	73.1%
	8 提出物を忘れずに出している。	80.8%	77.5%	79.7%	74.3%		8 子供は、提出物を忘れずに出している	80.3%	76.5%	73.1%	71.3%		8 生徒は、忘れず提出物をだしている	82.8%	66.7%	76.9%	53.8%
学力・学習指導	9 自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。	71.4%	76.8%	68.6%	68.3%	学力・学習指導	9 子供は、自分の考えや意見を伝える力が身についている	72.7%	73.4%	73.4%	68.8%	学力・学習指導	9 生徒は、自分の考えや意見を伝える力など、表現力が育っている	69.0%	60.0%	80.7%	53.8%
	10 授業の内容を理解している。	81.5%	83.9%	78.0%	75.4%		10 子供は、授業の内容を理解している	68.3%	69.1%	62.8%	58.8%		10 生徒は、授業の内容をよく理解している	75.9%	76.7%	84.6%	73.1%
	11 毎日、家庭学習をしている。	76.4%	81.8%	72.0%	70.4%		11 子供は、家庭学習をする習慣が身についている	56.2%	57.7%	46.9%	46.2%		11 生徒は、家庭学習をする習慣が身についている	69.0%	63.3%	65.4%	57.7%
	12 朝読書以外にも読書をしている。	35.1%	44.6%	47.6%	47.9%		12 子供は、家庭でも読書をしている	28.1%	28.7%	30.3%	29.0%		12 生徒は、読書に親しむ習慣が育っている	34.5%	46.7%	46.2%	23.1%
進路指導	13 将来の夢や希望の実現に向けて考えている。	73.9%	71.6%	68.9%	62.0%	進路指導	13 子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている	57.8%	53.0%	52.1%	43.0%	進路指導	13 生徒は、将来の夢や希望の実現に向けて、主体的に進路選択しようとしている	72.4%	80.0%	80.8%	57.7%
	14 自分には良いところがある。	76.4%	77.2%	71.7%	72.9%		14 保護者は子供の良いところを知っている	95.6%	94.3%	98.3%	97.5%		14 自分の良いところ気づかせようとしている	96.6%	93.3%	100.0%	100.0%
道徳教育	15 社会のルールを守って生活している。	92.0%	93.0%	95.1%	91.2%	道徳教育	15 子供は、社会のルールを守る態度が育っている	94.0%	90.9%	92.4%	78.9%	道徳教育	15 生徒は、社会のルールを守る態度が育っている	93.1%	96.7%	92.3%	88.5%
	16 自分が大切な存在であると思っている。	70.3%	81.8%	70.3%	68.0%		16 子供は、自分を大切な存在であると思っている	92.0%	91.9%	88.2%	87.1%		16 生徒は、自分を大切な存在であると思っている	86.2%	93.1%	84.6%	84.6%
	17 「とことん続ける目標」で、自信につながった。	77.5%	84.9%	76.2%	64.8%		17 子供は「とことん続ける目標」で、自信につながっている	75.9%	71.2%	66.2%	57.3%		17 生徒は「とことん続ける目標」で、自信につながっている	96.6%	100.0%	88.5%	80.8%
	18 道徳の時間に積極的に取り組んでいる。	79.7%	83.2%	77.3%	75.7%		18 子供が、道徳でどんなことを学んでいるか知っている	50.2%	54.1%	50.3%	49.1%		18 道徳の授業内容を通信等で知らせている	58.6%	66.7%	65.4%	100.0%

令和4年度 学校評価アンケートまとめ



生徒の回答

保護者の回答

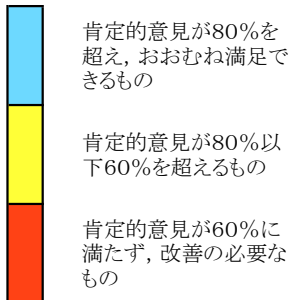
教師の回答

設問項目		R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
特別活動総合学習部活	19 生徒会活動や部活動に自主的・積極的に取り組んでいる。	72.5%	78.9%	75.2%	75.4%
	20 部活動ガイドラインを守り、活動ができている。	66.3%	79.6%	78.6%	81.3%
安全教育環境教育	21 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	85.1%	92.6%	92.0%	89.4%
	22 学校の施設・設備は安全である。	72.8%	80.0%	75.1%	65.5%
	23 時間いっぱい清掃に取り組んでいる。	85.1%	89.5%	85.3%	83.1%
人権教育	24 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。	80.8%	86.3%	80.1%	83.1%
	25 いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。	91.7%	93.7%	92.0%	89.8%
学校行事	26 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	91.7%	92.6%	88.1%	89.8%
学校公開情報公開地域家庭連携	27 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	72.5%	78.5%	76.9%	72.5%
	28 地域の行事に参加している。	24.6%	33.7%	34.6%	48.6%
	29 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	71.7%	77.5%	82.8%	79.9%
	30 学校からの便りを保護者にわたしている。	81.5%	84.2%	86.7%	79.6%

設問項目		R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
特別活動総合学習部活	19 子供は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる	80.7%	76.2%	75.5%	69.5%
	20 部活動は、時間を守り、活動ができている	71.9%	81.0%	80.0%	86.0%
安全教育環境教育	21 子供は、事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている	85.1%	88.7%	85.4%	77.4%
	22 学校の施設・設備は安全である	80.3%	83.1%	82.1%	73.8%
	23 学校は、美しく整えられている	91.2%	92.3%	88.9%	84.9%
人権教育	24 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している	83.1%	87.7%	82.4%	79.6%
	25 学校や先生は、いじめや差別のない学校づくりをしている	83.9%	87.4%	83.1%	81.0%
学校行事	26 学校行事や講演会は、楽しく、充実している	88.8%	87.0%	90.4%	87.1%
学校公開情報公開地域家庭連携	27 保護者は、学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している	80.7%	82.4%	80.0%	71.3%
	28 学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている	87.1%	92.9%	91.0%	90.0%
	29 学校は、授業参観や学校行事などを積極的に公開している	87.1%	93.4%	89.7%	94.3%
	30 学校の便りから、学校の取り組みや生徒の活動の様子がよく伝わる	89.2%	89.9%	86.6%	86.0%
	31 学校から発信されるホームページ、マチコメメールは役に立っている	94.0%	94.0%	94.8%	86.0%

設問項目		R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
特別活動総合学習部活	19 生徒は、生徒会活動や部活動に主体的・積極的に取り組んでいる	93.1%	96.7%	96.2%	84.6%
	20 部活動は時間を守り、運営ができている	89.7%	96.7%	100.0%	100.0%
安全教育環境教育	21 生徒は地震、火災、不審者など、危機に対応する能力が育っている	86.2%	93.3%	84.6%	73.1%
	22 学校の施設・設備は安全である	79.3%	73.3%	46.1%	46.2%
	23 学校を美しく整えている	100.0%	96.7%	100.0%	92.3%
人権教育	24 子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している	96.6%	96.7%	100.0%	100.0%
	25 いじめや差別を素早く見抜き、情報共有し、初期対応と未然防止に努めている	96.6%	96.7%	100.0%	96.2%
学校行事	26 学校行事や講演会は、教育効果を上げている	96.6%	96.7%	92.3%	100.0%
学校公開情報公開地域家庭連携	27 学校の教育方針や教育活動のねらいを伝えている	93.1%	96.7%	88.5%	92.3%
	28 積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている	89.7%	83.3%	76.9%	92.3%
	29 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している	96.6%	93.3%	88.4%	100.0%
	30 学校の取り組みや様子などを保護者に伝えている	89.7%	96.7%	80.7%	100.0%
	31 学校はホームページ、マチコメメールを利用して、積極的に情報発信している	93.1%	100.0%	88.4%	100.0%
特別支援	32 ひとりひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進している	96.6%	96.7%	84.6%	73.1%
学校経営	33 教職員間で「報告・連絡・相談」が日常的に行われ、教職員間の共通理解が図られている	100.0%	100.0%	84.6%	92.3%
	34 教職員間のコンプライアンス、情報セキュリティが徹底されている	96.6%	96.7%	84.6%	92.3%
	35 研修等に積極的に参加するなど、資質向上に努めている	100.0%	100.0%	88.5%	100.0%
資質向上	36 校務分掌・組織は適切に構成され、機能している	100.0%	100.0%	92.3%	84.6%
	37 教育活動全般において、職員同士が協力して取り組んでいる	100.0%	100.0%	84.6%	92.3%

※ アンケートの数字は、「そう思う」「ややそう思う」の肯定的意見を合計したものです。



板野中学校 学校評価【年度末】アンケート 回収数

(R5.3.1)

◆ アンケート実施期間 令和5年1月31日(火)～2月17日(金)

★ 職員用

職員数	回収数	回収率 (%)
29	29	100

★ 生徒用

	在籍数	回収数	回収率 (%)
1A	29	29	100
1B	30	33	110
1C	29	27	93
計	88	89	101%
2A	32	32	100
2B	32	32	100
2C	32	31	97
計	96	95	99%
3A	32	29	91
3B	33	31	94
3C	33	32	97
計	98	92	93.9%
全校生徒	282	276	97.9%

★ 保護者用

	在籍数	回収数	回収率 (%)
1A	29	29	100
1B	30	30	100
1C	29	24	83
計	88	83	94.3%
2A	32	29	91
2B	32	30	94
2C	32	23	72
計	96	82	85.4%
3A	32	30	94
3B	33	26	79
3C	33	28	85
計	98	84	85.7%
全保護者	282	249	88.3%

令和4年度
学校評価報告

《学校関係者評価委員会 評価表》



板野町板野中学校

令和4年度 学校関係者評価委員会 評価表

評価基準 **4** : 重点目標が十分達成できている **3** : 重点目標がおおむね達成できている
2 : 重点目標があまり達成できていない **1** : 重点目標がほとんど達成できていない

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
1 学校生活・生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校での生活を楽しく過ごす。 学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よく過ごす。 場に応じて、聞こえる挨拶をする。 遅刻をしないなど時間を守って生活する。 自転車で登校するときにはヘルメットをかぶる。 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのる。 予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができる。 提出物を忘れずに出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。」は、昨年度末は87.4%であったが、今年度末の調査では80.1%と約7ポイントのマイナスとなった。「ややあてはまる」と回答した25.7%を30%以上に、「よくあてはまる」と回答した54.3%を55%以上の回答に改善されるように、より生徒に寄り添った助言や指導を進めていきたい。 「提出物を忘れずに出している」では、昨年度末の77.5%より大きく上昇し、80.8%であった。昨年度の課題であった部分で、提出物をきちんと出せるように、声かけのみにとどまらず、提出物の内容やその設定手段についても再考し、板中メソッドやまとめの教材を活用するように指導した成果が現れていると考え、このまま継続する必要がある。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 巡視や面談・声かけ等を増やし生徒の日々の変化を素早く察知する。 表現できる力がアップしてきており、書く力もついてきた。 「学校での生活は楽しい」、「学校や学級で、いじめもなく仲よくすごしている」は、限りなく100%に近づけた。 生徒会の挨拶運動の活動や教職員の登下校指導を毎日行い、聞こえる声で挨拶ができるまで呼びかける。 着席後に取り組める、学習課題を準備し、直ちに始める習慣とルーティーンをつくる。 <p>○今後の課題と重点目標 VI. 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。 VII. いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。</p>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしい結果だと感じます。 学校生活が充実していることがうかがえて嬉しいです。 提出物の項目が良くなっているのがすばらしいと思います。 生徒、保護者、教職員の三者とも肯定的な意見が概ね8割に達しており、日々の指導が徹底している事が分かりました。 提出物を出さないのは同じ生徒のように思われるのですが、出せるようになるために、個々の対応が必要だと感じます。そこまでの指導が可能なのか、疑問が残ります。

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力をつける。 授業の内容を理解する。 毎日、家庭学習をする。 朝読書以外にも読書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。」は、昨年度の調査と比べても71.4%と安定しているが、生徒が主体的に表現する機会をさらに増やし、80%を目指したい。 「朝読書以外にも読書をしている」は、昨年度の44.6%よりもさらに低下し、35.1%であった。タブレット導入で、紙媒体に触れる機会が減少したことも要因にあると考えられ、今後の課題であると考え、紙媒体とタブレットの両立を進めるための検証に取り組み、改善していきたい。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 鳴潮視写を継続し、表現力の向上と全教科共通の学びのスタイルを確立する。 板中メソッドのさらなる定着を促進する。 学習の土台となる「人間力づくり」「人間関係づくり」を最優先に取り組む。 <p>◎今後の課題、重点目標 I、自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。 II、朝読書以外にも読書をしている</p>	3.2	<ul style="list-style-type: none"> スマホやゲームをする時間が長くなって、読書をする環境が悪くなっているが、本の楽しさを味わえると人生が楽しくなると思うので、朝読の時間を続けて下さい。 「朝読の時間」が設けられていることが、ありがたいです。 もっと読書に楽しんでほしい。 表現力は個人差が大きくなってきているようです。現在行われている講演会や商品開発を経験し、興味を持つことで意欲が湧き、行動力、表現力が養われると思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や希望の実現に向けて考えている。 自分の良いところを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている。」が「よくあてはまる」の回答が少ない。 「自分には良いところがある」の肯定的な意見は生徒76.4%に対し、保護者95.6%と差があり、自己肯定感のさらなる向上が求められる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 「とことん続ける目標」の徹底で自己肯定感を磨き、それによって学習意欲を増加させるよう取り組む。 <p>◎今後の課題、重点目標 III、自分には良いところがある。</p>	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の肯定的な意見が低く、生徒との差は家庭学習の習慣の定着と関連しているように思います。 もっと普段の生活のなかで、将来の夢や希望について話合った方がよい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 社会のルールを守って生活する。 自分が大切な存在であることを知る。 「とことん続ける目標」で、自信につなげる。 道徳の時間に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分が大切な存在であると思っている。」ではマイナス12ポイントの70.3%であった。 「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。」では、マイナス7ポイントの77.5%となった。しかし、昨年度よりは減少となっているが、令和元年、2年と比べると緩やかな増加傾向であるとも見える。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。」「自分が大切な存在であると思っている」の2点については重点目標として捉え、自尊感情や自信につながるよう、教育活動全般でより充実したサポートを行い、経過を注視したい。 <p>◎今後の課題、最重点目標 IV、自分が大切な存在であると思っている。 V、「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。</p>	2.7	<ul style="list-style-type: none"> 保護者は、子どもがどんな道徳の勉強をしているのか知らないようですね。私もそうだったかも。 生徒の評価が少し低いのですが、自己評価の点が厳しくなっているのかもと思います。 様々な取組をされており、成果を上げていますが、保護者への広報・発信が十分でないのかも。 家庭での教育が重要になるので、保護者との連携をとればより効果的なものとなると感じます。

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
5 特別活動 総合学習 部活	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や部活動に自主的・積極的に取り組む。 部活動ガイドラインを守り、活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組む意欲はあったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策で中止・縮小になった活動が多数あり、肯定的な意見が伸びていない。 部活動ガイドラインは守れているが活動できない期間が長期間あり、肯定的な意見が伸びていない。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 講演会や学校行事を生徒会が運営することを増やし、生徒会の活動が見える化を図る。 部活動の入部率や継続率を高めていきたい。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 企業（イルローザ）との連携した商品開発に取り組むなど、総合的な学習の時間をキャリア教育の視点から深めており、素晴らしいと思います。 部活動の時間が少なくなった分、時間を有効に使う工夫を学ぶことができると感じます。
6 安全教育 環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知る。 学校の施設・設備を安全にする。 時間いっぱい清掃に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の外壁改修、体育館と武道館のエアコン設置、校舎内のLAN工事が進み、設備の充実が図られているが、老朽化に伴い、問題箇所もある。 無言清掃に取り組むことで、清掃時間が午前中を振り返る時間になり、単なる清掃時間でなくなり、より充実した時間になったきた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の形態や実施時期を、事前連絡なしに行い、より真剣さ高め、実際の発生したときを想定し、改善点をリアルタイムで話し合う。 無言清掃を徹底し、清掃を充実させるだけでなく、午前中の行動・取り組みを振り返る時間とし、午後の活動を充実させる。 	3.8	<ul style="list-style-type: none"> よく整っているようで、嬉しいです。 学校の施設の充実はとても良いことです。 清掃時間も大切な自分磨きの時間だと思います。

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
7 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応する。 いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての項目で80%を超える高い結果となっている。 最重点目標の一つである「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。」は80.8%となり、昨年度調査の86.3%からは減少も見られる。しかし「よく当てはまる」の回答が49.3%とほぼ過半数となり、他の設問項目と比べても「よく当てはまる」の回答率が高くなっている。 	3	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対応を素早く、スピード感をもって対処する。 <p>◎今後の課題, 最重点目標 V, 「とことん続ける目標」で, 自信につながるようになった。 ○今後の課題, 重点目標 VI, いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。</p>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士のトラブルへの対応など, 学校生活を楽しく過ごさせるように取り組まれており, 評価に現れていると思います。 これからもご指導頑張ってください。 先生に何でも言う子と言えない子, いろいろな性格の子がいるので大変だと思います。
8 学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や講演会を, 楽しく, 充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の肯定的な意見が9割を超えており, 保護者の意見もそれに近い。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事で生徒の夢や, 考え, 意見を保護者に見てもらったり, 聞いてもらったりする活動を充実させる。 講演会等は保護者も参加・研修できるように計画する。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 生徒, 保護者, 教職員の三者とも肯定的な意見が高く, 教育効果を上げることができていると感じました。 ほとんどの人が学校行事を楽しんでいることが分かって嬉しいです。 保護者時代, 学校行事が楽しみでした。すべての行事に参加させて頂いたと思います。

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
9 学校公開 情報公開 地域家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解する。 地域の行事に参加する。 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開する。 学校からの便りを保護者にわたす。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への情報発信はいずれの設問項目においても80%を大きく上回る評価となっている。 保護者が学校を訪問するPTA活動や学校行事などは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策もあり、その機会が増やせていない。 「学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている。」では、昨年度調査の90.1%より減少し87.1%となった。 「学校から発信されるホームページ、マチコミメールは役に立っている。」では、94.0%の好意的な回答が得られた。今後もコロナ禍であるからこそ、きめ細やかな情報発信に努めていきたい。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの意見や情報を、教職員に日常的に伝え、情報交換を高める。 学校からの情報発信力(学年や学級の通信、メール配信を増やし、コロナ禍で学校訪問が減っていることを補い、さらに連携を深める。 学校と家庭が歩調を合わせ生徒の自己肯定感の育成を一体となっていく。 生徒の夢や、考え、意見を保護者に見てもらったり、聞いてもらったりする情報発信を強化する。 『とことん続ける目標』を保護者に知ってもらう。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのかけ橋」プロジェクトなど、地域と連携した活動が充実していると思います。企業連携と共に本校の取組の参考にしたいと思います。 地域の行事に参加することは難しい時期だと思います。子ども達が参加しやすい行事を増やしたいと思います。 コロナ規制も緩和して、以前のような行事に戻せると思います。

ご意見・ご感想記入用紙

ご芳名	
-----	--

令和4年度 学校評価【年度末】アンケートの集計と分析が終わりました。内容について、項目ごとに忌憚のないご意見やご感想と、4段階評価をお願いします。なお、ご意見・ご感想は書けるところだけでかまいません。

評価基準	4:重点目標が十分達成できている 3:重点目標がおおむね達成できている 2:重点目標があまり達成できていない 1:重点目標がほとんど達成できていない
------	---

項目	ご意見・ご感想など	4段階評価
学校生活・生活指導		
学力・学習指導		
進路指導		
道德教育		
特別活動 総合学習 部活		
安全教育 環境教育		
人権教育		
学校行事		
学校公開 情報公開 地域家庭 連携		

ご協力,ありがとうございました。 3月20日までに,封筒に入れて投函して下さい。